

半井 小絵さん

Sae Nakarai

Profile

日本銀行での勤務のかたわら気象予報士の勉強をして資格を取得。その後、気象会社に転職し、NHKの気象キャスターを9年務める。

現在は、気象や防災の講演活動や防災関係のNPOで客員研究員、またタレント活動としてバラエティ番組出演やレポーターなどで活躍している。

半井小絵のオフィシャルブログ <http://ameblo.jp/nakarai-sae/>

人はひとりでは生きていけない。日ごろから人を大切にしたいと思っています。南小の、のびのびしていた環境が私の原点です。

どんな南っ子でしたか？

現在、人前で話す仕事をしているのが信じられないくらい学校内では大人しい子でした。

南小での思い出

一番の思い出は、学年ごとの合唱で、ピアノの伴奏を担当したことです。高学年のときには、みーくんという可愛い転校生と、いつも一緒にいました。



どんな仕事をしてこられましたか？

日本銀行の職員が私の最初の仕事です。安定していて環境もよい職場でしたが、何か自分しかできないことをしたいと考えて、働きながら2年かけて気象予報士の資格を取得しました。その後、気象会社に転職。転職した年の翌年、オーディションに合格し、2002年からの9年間、NHKの気象情報を担当しました。転職してから1年未満しか経たないうちにキャスターになったので、かなり戸惑いました。NHKの気象キャスターは、記者が書いた原稿を読むのではなく、自分で話す内容から使う画面まで考えるのです。その間、NHK 紅白歌合戦で、初日の出の天気をさせていただくなど貴重な経験もさせていただきました。

現在も、気象予報士として気象や防災の講演を行ったり、防災関係のNPOの客員研究員として住民ワークショップなどを行ったりしています。その他、タレント活動として、バラエティ番組に出演やレポーターをしています。レポーターの経験で印象に残っているのが、南米ベネズエラ、マラカイボ湖のギネス世界一の雷のメカニズムを探るロケに行ったことです。2週間、42時間の飛行機移動や標高4000メートルのアンデス山脈での高山病、湖の上の水上ハウスでの野生生活など過酷な旅でしたが、今となっては自分では行けない場所に行けたことを有り難く思っています。その上、最近、お芝居のレッスンにも通っています。肩書きに「女優」という文字を加えることができるよう、日々精進しているところです。夢は40年後にも森光子さんみたいに舞台に出続けていることです。

今までに経験された困難は？どのように乗り越えましたか？

私は人に恵まれています。いつもどんなときも、誰か支えてくれる人がいるのです。すべて仕事もプライベートも大切なのは人間関係だと実感しています。有難いなあと思っていたら、人にも優しくできて、その人から助けをもらえたり、嬉しい報告があったりと感謝の連鎖が生まれます。ですから日ごろから、周りの人の良い面をみるように心がけています。しかし、どうしても避けられない困難なことが人生では起こります。その真っ最中は、暗いトンネルからいつ抜け出せるのかかと思っています。しばらくは暗闇で自分を見つめて諦めなければ、必ず、光は射してくるものかと思っています。

そのときに、周りの人たちの有り難さがとても身にしみて感じます。いまは、自分にとってあまり好ましくないことが起こっても、これを乗り越えたら成長できると思えるようになりました。困難なことは誰にでも起こる可能性があります。人はひとりでは生きていけない。日ごろから人を大切にしたいと思っています。

南っ子または、南っ子の保護者へのメッセージ

南小の、のびのびしていた環境が私の原点です。

子育てをしたことがないので、アドバイスなどは申し上げられませんが、6年間で子どもたちの可能性を伸ばせるよう、温かく見守ってください。